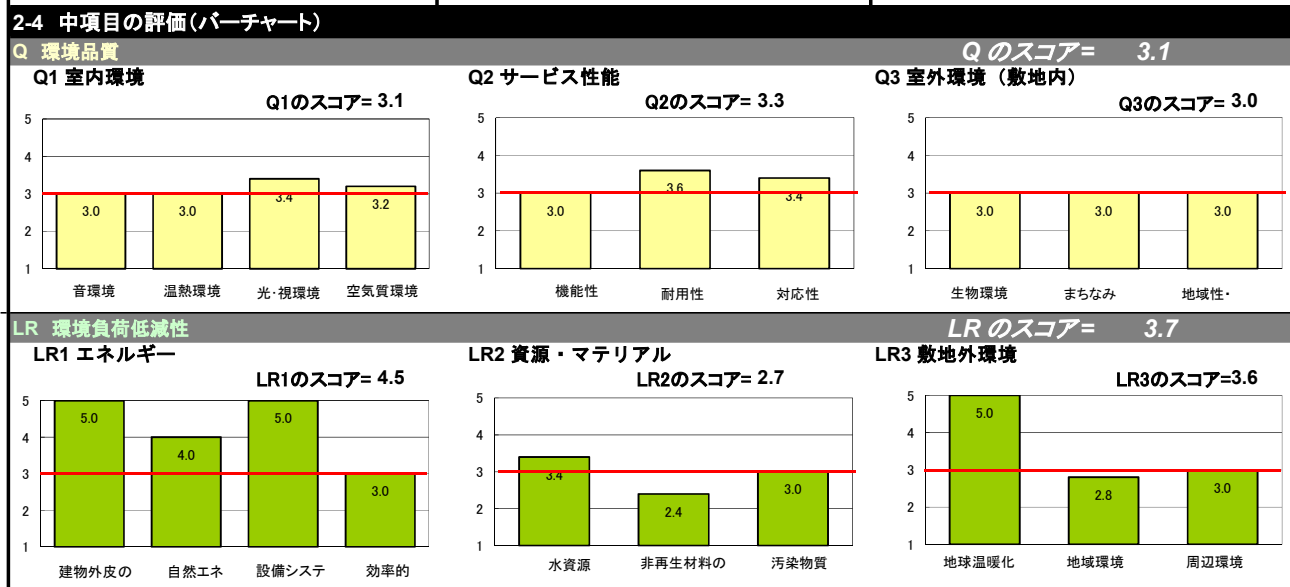
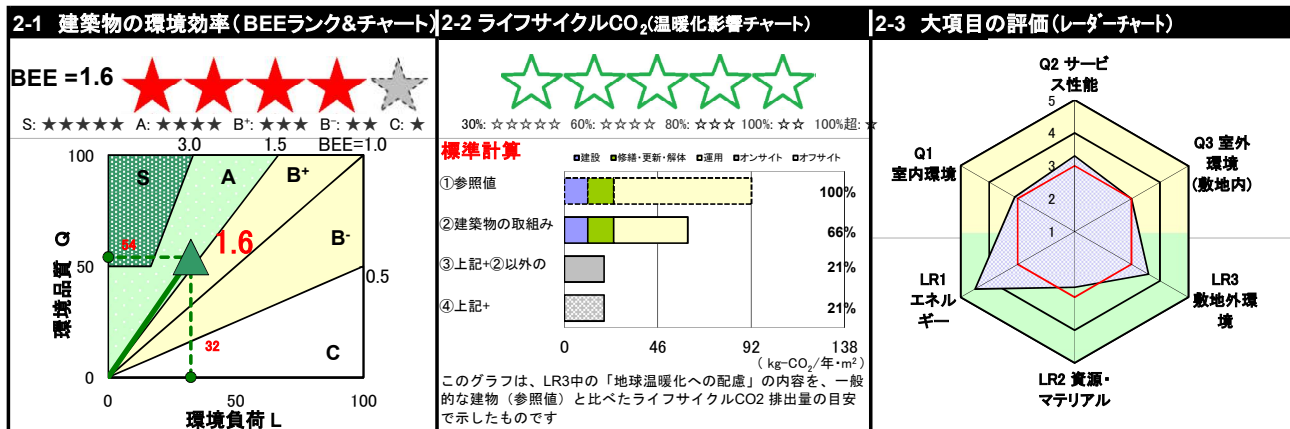


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	北里大学(仮称)相模原図書館	階数	地上2階
建設地	相模原市南区北里一丁目411-1外40番(地名地番) 相模原市南区北里一丁目15番1号(住居表示)	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年8月 予定	評価の実施日	2024年1月26日
敷地面積	5,723 m ²	作成者	(株)日建設計
建築面積	2,291 m ²	確認日	2024年1月26日
延床面積	3,403 m ²	確認者	(株)日建設計



3 設計上の配慮事項		
総合 ・これまでキャンパス内で採用されていなかった環境配慮手法を導入した施設 ・大屋根形状を活かした環境配慮手法の導入		その他 特になし
Q1 室内環境 ・高断熱・高遮熱ガラスによる日射負荷の低減 ・深い軒による日射遮蔽 ・外装を高断熱仕様とすることによる空調負荷低減 ・タスクアンビエント照明設置により全般照明の照度を低減	Q2 サービス性能 ・2回線受電および非常用発電機搭載 ・サービス動線と学生動線の分離	Q3 室外環境(敷地内) ・将来計画の広場と一体となった外装計画 ・外構や建築物に緑化を計画
LR1 エネルギー ・室中央部にハイサイドライト設置 ・高効率機器の採用	LR2 資源・マテリアル ・節水コマに加えて、擬音装置を採用	LR3 敷地外環境 ・建物の低層化による日影等の周辺敷地への配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される